

第16期末 (2023年8月10日)

基準価額 10,357円

純資産総額 42億円

第11期～第16期  
(2023年2月11日～2023年8月10日)

騰落率 21.8%

分配金合計 0円

(注) 騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

商品内容、運用状況などについてのお問い合わせ先

コールセンター **0120-762-506**

(9:00～17:00 土日祝日・年末年始を除く)

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

# ニッセイ・ メタバースワールド (予想分配金提示型)

追加型投信／内外／株式

## 運用報告書(全体版)

作成対象期間：2023年2月11日～2023年8月10日

第11期(決算日2023年3月10日) 第14期(決算日2023年6月12日)  
第12期(決算日2023年4月10日) 第15期(決算日2023年7月10日)  
第13期(決算日2023年5月10日) 第16期(決算日2023年8月10日)

### 受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

さて「ニッセイ・メタバースワールド(予想分配金提示型)」は、このたび第16期の決算を行いました。

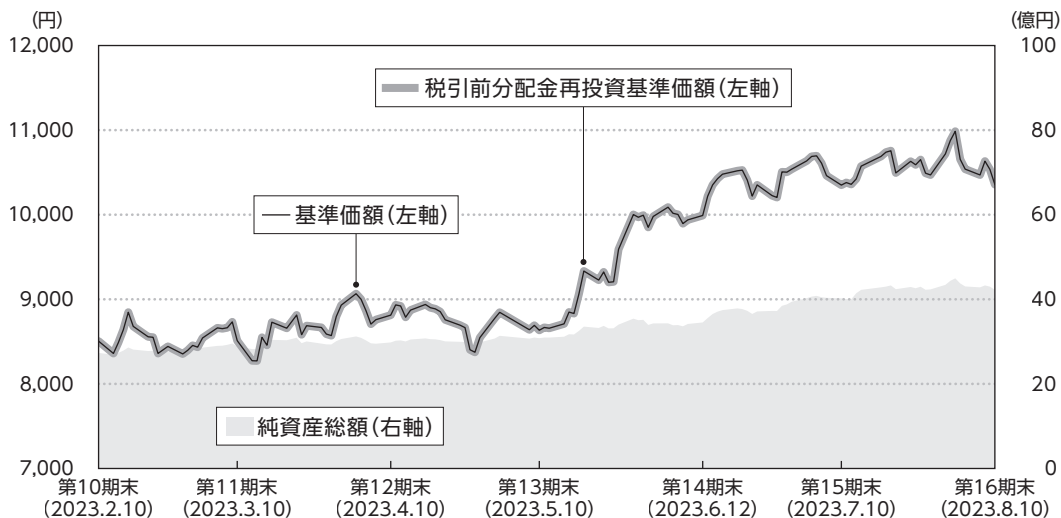
当ファンドは、「ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド」受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。ここに運用状況をご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

# 運用経過

2023年2月11日～2023年8月10日

## 基準価額等の推移



第11期首	8,505円	既払分配金	0円
第16期末	10,357円	騰落率 (分配金再投資ベース)	21.8%

(注1) 税引前分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、前作成期末の基準価額にあわせて再指数化しています。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 当ファンドはベンチマークを設けていません。

## 基準価額の主な変動要因

### <上昇要因>

- ・3月中旬から4月上旬にかけて、金融危機に伴う金融引き締め緩和への期待感や金融危機への欧米金融当局による対応が迅速に行われたことで株価が上昇したこと
- ・5月中旬から7月中旬にかけて、米債務上限問題の解決や堅調な景気動向に加え、生成人工知能（AI）の開発等で必要とされる高性能画像処理半導体（GPU）需要の高まりを受けて米半導体企業が市場予想を大きく上回る業績見通しを発表したことでAI関連銘柄が物色されたこと
- ・当作成期を通じて日銀の金融緩和継続姿勢や世界的な金融引き締めの継続を受けておおむね米ドル高円安が進行したこと

### <下落要因>

- ・当作成期初から3月上旬にかけて、今年中の利下げまで見込む金融政策に対する楽観的な見方が後退したことや、米地銀の経営破綻など欧米において金融不安が発生し株価が下落したこと
- ・7月下旬以降、米国債の格下げに端を発した米長期金利の上昇や中国経済への懸念から株価が下落したこと

## 1万口当たりの費用明細

項目	第11期～第16期		項目の概要
	金額	比率	
信託報酬	88円	0.938%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× $\frac{\text{期中の日数}}{\text{年間の日数}}$ 期中の平均基準価額は9,418円です。
（投信会社）	(46)	(0.490)	ファンドの運用、法定書類等の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(41)	(0.435)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（受託会社）	( 1)	(0.013)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価
売買委託手数料	1	0.010	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
（株式）	( 1)	(0.010)	売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	0	0.001	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数
（株式）	( 0)	(0.001)	有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用	1	0.011	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	( 1)	(0.007)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	( 0)	(0.004)	公募投資信託は、外部の監査法人等によるファンドの会計監査が義務付けられているため、当該監査にかかる監査法人等に支払う費用
（その他）	( 0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	90	0.959	

(注1) 作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

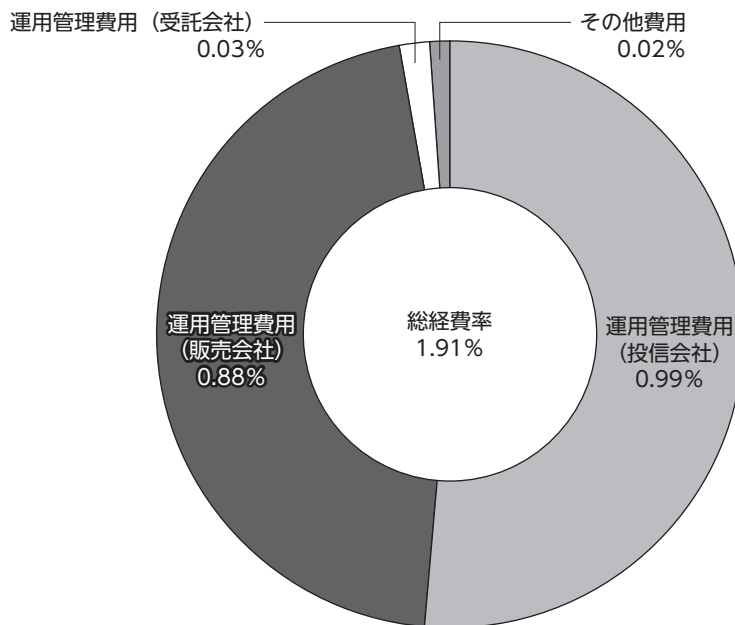
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。

## （参考情報）

## ■ 総経費率

作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.91%**です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

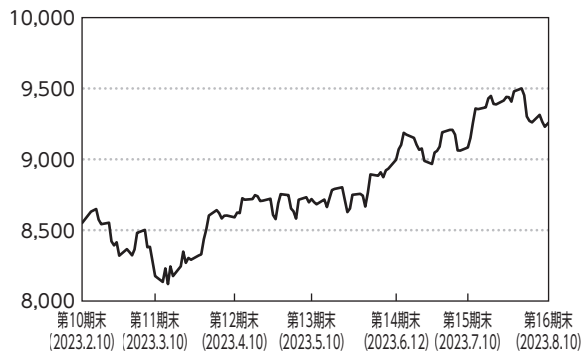
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## 投資環境

## 株式市況

【MSCI ワールド・インデックス  
(配当込み、米ドルベース)の推移】

(注) 指数はブルームバークのデータを使用しています。

株式市場は当作成期を通じて見ると上昇しました。

当作成期初以降、米地銀の経営破綻に端を發した欧米における金融不安発生で、クレディ・スイス・グループがU B Sに救済合併されるなど金融危機の様相を呈する展開となったことから投資家のリスク回避姿勢が強まり株価は下落する場面がありました。欧米金融当局による対応が早かったことに加え、今後の金融引き締めを早期完了期待が高まるかたちでテクノロジー株をけん引役として上昇に転じる展開となりました。4月中旬以降は主要グローバル企業の良い業績動向に加え、生成AIの爆発的な成長による恩恵を見込む米半導体企業の業績見通しを手掛かりとしたAI関連銘柄への物色が進み、特に米国の金融引き締め減速により、金融引き締め環境下で大きく下落していた高成長・テクノロジー株の買い戻しとみられる動きが強まりました。一方で世界的な金融引き締めの継続や中国の景気回復の鈍さなどが嫌気される場面もありましたが、良好な企業業績が下支えとなりました。当作成期末にかけては大手格付け会社による米国債の格下げに端を發した米長期金利の上昇や中国経済への懸念が嫌気され、株価は上昇幅を縮めるかたちで当作成期末を迎えました。

## 為替市況

【米ドル/円レートの推移】



(注) 為替レートは対顧客電信売相場仲値のデータを使用しています。

米ドル/円相場は当作成期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

3月中旬に欧米における金融不安発生で投資家のリスク回避姿勢がやや強まった場面があったものの、その後は欧米での金融機関に対する信用不安が和らいだことや日銀の金融緩和策が植田新総裁のもとで当面維持されるとの見通しなどを背景に米ドル高円安に転じました。7月には日銀がイールドカーブ・コントロール(長短金利操作、YCC)の運用柔軟化を決定したことなどを受けて米ドル安円高となった場面もありましたが、当作成期末にかけては日銀の金融緩和継続姿勢や世界の主要中央銀行における利上げの継続など、世界的な金融引き締めの継続を受けて再び米ドル高円安が進行しました。

## ポートフォリオ

### ■当ファンド

マザーファンド受益証券の組み入れを高位に保った運用を行いました（ただし、当ファンドから信託報酬等の費用を控除する関係などから、当ファンドの収益率はマザーファンドとは必ずしも一致しません）。

### ■マザーファンド

日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当作成期末における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術（73.0%）、コミュニケーション・サービス（21.1%）、一般消費財・サービス（2.8%）としています。

当作成期末における国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ（84.8%）、中国（4.0%）、オランダ（2.2%）としています。

(注1) メタバースとはメタ（meta：超越）とユニバース（universe：世界）を組み合わせた造語で、通信ネットワーク上に構築された仮想空間やそのサービスのことをさします。参加者はアバターと呼ばれる自分の分身を操作して、仮想空間内でさまざまな活動を行うことができます。

(注2) 業種はGICS分類（セクター）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注3) 比率は対純資産総額比です。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ベンチマークとの差異

当ファンドはマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 分配金

当作成期の分配金は、決算日の前営業日の基準価額が当運用報告書「当ファンドの概要」分配方針記載の11,000円未満であるため、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案した結果、見送らせていただきました。

なお、分配に充てずに信託財産に留保した収益につきましては、元本部分と同一の運用を行います。

### 【分配原資の内訳（1万口当たり）】

項目	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期
	2023年2月11日 ～ 2023年3月10日	2023年3月11日 ～ 2023年4月10日	2023年4月11日 ～ 2023年5月10日	2023年5月11日 ～ 2023年6月12日	2023年6月13日 ～ 2023年7月10日	2023年7月11日 ～ 2023年8月10日
当期分配金（税引前）	－	－	－	－	－	－
対基準価額比率	－	－	－	－	－	－
当期の収益	－	－	－	－	－	－
当期の収益以外	－	－	－	－	－	－
翌期繰越分配対象額	30円	278円	278円	1,345円	1,631円	1,631円

(注1) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切り捨てで算出しているため、合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

# 今後の運用方針

## ■当ファンド

マザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。

## ■マザーファンド

当マザーファンドは長期的な視点で、今後、大きな成長が期待される「メタバース」に関連する技術、コンテンツ展開力、市場アクセス等に強みを持つ企業へ投資を行っています。投資にあたっては「メタバース」関連の技術やコンテンツ等において企業として競争優位性を持っているかを分析したうえで、今後、中長期的な業績成長シナリオを達成できると見込まれる企業への投資を行っています。

「メタバース」はこれから成長する技術でもあり、多くの技術やコンテンツ等は比較的新しい中小の企業が持っていることも事実です。このため、当マザーファンドでは時価総額などで規模の小さい企業群への投資がやや多くなる傾向にあります。「今後、これらの中小規模の企業が大きく業績成長することを期待して投資を行っている」とご理解いただけますと幸いです。銘柄選別にあたっては「メタバース」をキーワードとした業績成長シナリオを想定しており、経営陣が確かな執行能力を持つと思われる企業の中から、長期的な成長力を重視して選択しています。同時に株価バリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）を考慮し、相対的にバリュエーションが高すぎる銘柄を排除するなど、慎重な銘柄選択を実施しています。今後も、「メタバース」をキーワードに長期的な成長を達成し、同時に企業価値を向上することができる銘柄への投資を進めていきたいと考えています。



# ファンドデータ

## 当ファンドの組入資産の内容

### 組入ファンド

	第16期末 2023年8月10日
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	98.1%

(注1) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

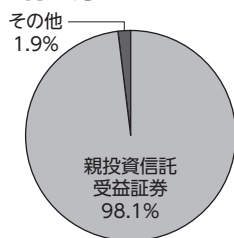
(注2) 組入全ファンドを記載しています。

### 純資産等

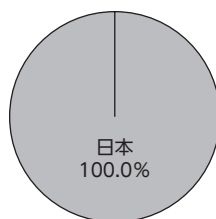
項目	第11期末 2023年3月10日	第12期末 2023年4月10日	第13期末 2023年5月10日	第14期末 2023年6月12日	第15期末 2023年7月10日	第16期末 2023年8月10日
純資産総額	2,887,831,185円	2,980,159,742円	3,080,548,535円	3,452,748,177円	4,022,766,852円	4,223,734,666円
受益権総口数	3,392,937,908口	3,381,397,084口	3,567,877,540口	3,455,878,945口	3,886,737,073口	4,078,145,864口
1万口当たり基準価額	8,511円	8,813円	8,634円	9,991円	10,350円	10,357円

(注) 当作成期間（第11期～第16期）中における追加設定元本額は2,298,953,655円、同解約元本額は1,432,831,719円です。

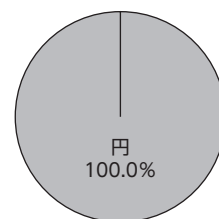
### 資産別配分



### 国別配分



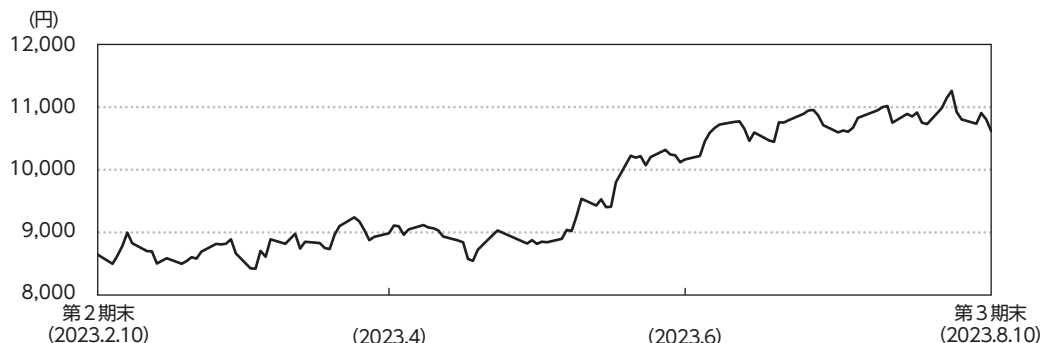
### 通貨別配分



(注) 資産別・国別・通貨別配分は、2023年8月10日現在のものであり、比率は純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ニッセイ・メタバースワールドマザーファンドの概要

### ■基準価額の推移



### ■上位銘柄

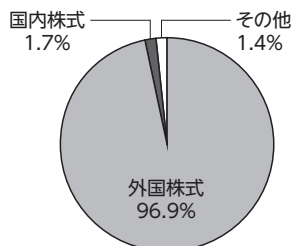
銘柄名	通貨	比率
META PLATFORMS INC-A	米ドル	6.4%
NVIDIA CORP	米ドル	6.4
BROADCOM INC	米ドル	4.7
APPLIED MATERIALS INC	米ドル	3.7
MICROSOFT CORP	米ドル	3.7
IMMERSION CORPORATION	米ドル	3.6
QUALCOMM INC	米ドル	3.2
SKYWORKS SOLUTIONS INC	米ドル	3.2
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	米ドル	3.2
TERADYNE INC	米ドル	3.2
組入銘柄数		43

### ■1万口当たりの費用明細

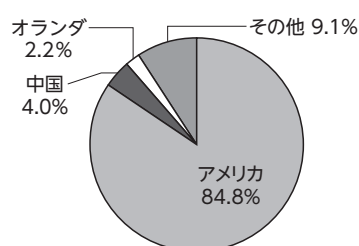
2023.2.11～2023.8.10

項目	金額
売買委託手数料 (株式)	1円 (1)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用) (その他)	1 (1) (0)
合計	2

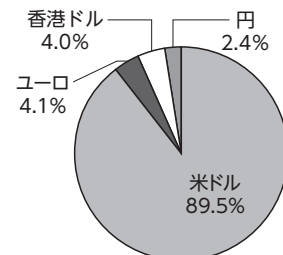
### ■資産別配分



### ■国別配分



### ■通貨別配分



(注1) 基準価額の推移および1万口当たりの費用明細は、マザーファンドの直近の決算期のものであり、費用項目の金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。項目の詳細につきましては、前掲の費用項目の概要をご参照ください。

(注2) 上位銘柄、資産別・国別・通貨別配分は、マザーファンド決算日（2023年8月10日現在）のものであり、比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。なお、国別配分はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

(注3) 全銘柄に関する詳細な情報につきましては、運用報告書（全体版）の組入有価証券明細表をご参照ください。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期中 騰落率	(ご参考)	株式 組入比率	純資産 総額
				基準価額+ 累計分配金		
(設定日)	円	円	%	円	%	百万円
2022年3月31日	10,000	—	—	10,000	—	251
1期(2022年5月10日)	8,202	0	△18.0	8,202	90.2	449
2期(2022年6月10日)	8,767	0	6.9	8,767	96.9	619
3期(2022年7月11日)	8,562	0	△2.3	8,562	96.2	688
4期(2022年8月10日)	8,989	0	5.0	8,989	96.6	891
5期(2022年9月12日)	8,975	0	△0.2	8,975	97.3	1,517
6期(2022年10月11日)	7,822	0	△12.8	7,822	93.6	1,876
7期(2022年11月10日)	7,650	0	△2.2	7,650	93.4	2,083
8期(2022年12月12日)	7,958	0	4.0	7,958	91.2	2,342
9期(2023年1月10日)	7,614	0	△4.3	7,614	94.3	2,346
10期(2023年2月10日)	8,505	0	11.7	8,505	93.5	2,731
11期(2023年3月10日)	8,511	0	0.1	8,511	92.2	2,887
12期(2023年4月10日)	8,813	0	3.5	8,813	96.8	2,980
13期(2023年5月10日)	8,634	0	△2.0	8,634	96.2	3,080
14期(2023年6月12日)	9,991	0	15.7	9,991	97.8	3,452
15期(2023年7月10日)	10,350	0	3.6	10,350	94.8	4,022
16期(2023年8月10日)	10,357	0	0.1	10,357	96.7	4,223

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

(注3) 「基準価額+累計分配金」は、当該決算期の基準価額（分配落）に当該決算期以前の税引前分配金の累計額を加えたものです。

(注4) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注5) 当ファンドはマザーファンドを組み入れるため、「株式組入比率」は実質比率を記載しています。以下同じです。

(注6) 作成期とは運用報告書を作成する期間をいい、上表の網掛け部分が当作成期です。以下同じです。

(注7) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当作成期中の基準価額と市況等の推移

	年月日	基準価額	騰落率		株式 組入比率
第11期	(期首)	円		%	%
	2023年2月10日	8,505		—	93.5
	2月末	8,397	△	1.3	92.8
第12期	(期末)				
	2023年3月10日	8,511		0.1	92.2
	(期首)				
第12期	2023年3月10日	8,511		—	92.2
	3月末	8,931		4.9	95.4
	(期末)				
第13期	2023年4月10日	8,813		3.5	96.8
	(期首)				
	2023年4月10日	8,813		—	96.8
第13期	4月末	8,547	△	3.0	96.9
	(期末)				
	2023年5月10日	8,634	△	2.0	96.2
第14期	(期首)				
	2023年5月10日	8,634		—	96.2
	5月末	9,994		15.8	94.7
第15期	(期末)				
	2023年6月12日	9,991		15.7	97.8
	(期首)				
第15期	2023年6月12日	9,991		—	97.8
	6月末	10,539		5.5	96.4
	(期末)				
第16期	2023年7月10日	10,350		3.6	94.8
	(期首)				
	2023年7月10日	10,350		—	94.8
第16期	7月末	10,718		3.6	97.4
	(期末)				
	2023年8月10日	10,357		0.1	96.7

(注) 期末基準価額は分配金（税引前）込み、騰落率は期首比です。

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

2023年2月11日～2023年8月10日

	第11期～第16期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	2,321,107	2,324,391	1,580,111	1,596,136

(注) 単位未満は切り捨てています。

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	第11期～第16期
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド
(a) 作成期中の株式売買金額	1,517,376千円
(b) 作成期中の平均組入株式時価総額	8,570,376千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.17

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 外国株式の(a)は各月末（作成期末の属する月については作成期末）、(b)は各月末の国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注3) 単位未満は切り捨てています。

## 利害関係人との取引状況等

2023年2月11日～2023年8月10日

当作成期における利害関係人との取引はありません。

## 親投資信託残高

2023年8月10日現在

種類	第10期末	第16期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	3,160,191	3,901,186	4,142,280

(注1) 単位未満は切り捨てています。

(注2) 当作成期末におけるニッセイ・メタバースワールドマザーファンド全体の口数は8,379,399千口です。

投資信託財産の構成

2023年8月10日現在

項目	第16期末	
	評価額	比率
	千円	%
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	4,142,280	97.2
コール・ローン等、その他	119,016	2.8
投資信託財産総額	4,261,296	100.0

(注1) 外貨建資産は、当作成期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお8月10日における邦貨換算レートは、1米ドル143.96円、1香港ドル18.41円、1ユーロ157.97円です。

(注2) ニッセイ・メタバースワールドマザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産（8,681,135千円）の投資信託財産総額（9,084,756千円）に対する比率は95.6%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

資産、負債、元本および基準価額の状況

項目	(2023年3月10日)	(2023年4月10日)	(2023年5月10日)	(2023年6月12日)	(2023年7月10日)	(2023年8月10日)現在
	第11期末	第12期末	第13期末	第14期末	第15期末	第16期末
<b>(A)資産</b>	<b>2,898,173,907円</b>	<b>3,026,852,679円</b>	<b>3,086,339,213円</b>	<b>3,549,612,323円</b>	<b>4,043,752,515円</b>	<b>4,261,296,801円</b>
コール・ローン等	3,481,558	3,881,313	3,289,365	4,657,880	4,307,172	5,526,012
ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド(評価額)	2,887,985,480	2,980,620,659	3,080,709,747	3,453,281,997	3,947,354,024	4,142,280,343
未収入金	6,706,869	42,350,707	2,340,101	91,672,446	92,091,319	113,490,446
<b>(B)負債</b>	<b>10,342,722</b>	<b>46,692,937</b>	<b>5,790,678</b>	<b>96,864,146</b>	<b>20,985,663</b>	<b>37,562,135</b>
未払解約金	6,251,145	41,877,990	1,040,039	91,144,442	15,413,202	30,691,474
未払信託報酬	4,072,535	4,792,718	4,728,756	5,693,643	5,547,439	6,840,125
その他未払費用	19,042	22,229	21,883	26,061	25,022	30,536
<b>(C)純資産総額(A-B)</b>	<b>2,887,831,185</b>	<b>2,980,159,742</b>	<b>3,080,548,535</b>	<b>3,452,748,177</b>	<b>4,022,766,852</b>	<b>4,223,734,666</b>
元本	3,392,937,908	3,381,397,084	3,567,877,540	3,455,878,945	3,886,737,073	4,078,145,864
次期繰越損益金△	505,106,723	401,237,342	487,329,005	3,130,768	136,029,779	145,588,802
<b>(D)受益権総口数</b>	<b>3,392,937,908口</b>	<b>3,381,397,084口</b>	<b>3,567,877,540口</b>	<b>3,455,878,945口</b>	<b>3,886,737,073口</b>	<b>4,078,145,864口</b>
1万口当たり基準価額(C/D)	8,511円	8,813円	8,634円	9,991円	10,350円	10,357円

(注) 当作成期首元本額 3,212,023,928円

当作成期中追加設定元本額 2,298,953,655円

当作成期中一部解約元本額 1,432,831,719円

## 損益の状況

	(第11期 2023年2月11日～2023年3月10日)	(第12期 2023年3月11日～2023年4月10日)	(第13期 2023年4月11日～2023年5月10日)	(第14期 2023年5月11日～2023年6月12日)	(第15期 2023年6月13日～2023年7月10日)	(第16期 2023年7月11日～2023年8月10日)
項目	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期
(A)配当等収益	△ 20円	△ 24円	△ 77円	△ 90円	△ 66円	△ 147円
受取利息	3	7	-	5	11	7
支払利息	△ 23	△ 31	△ 77	△ 95	△ 77	△ 154
(B)有価証券売買損益	5,835,590	104,871,183	△ 56,977,035	426,709,691	116,610,629	942,052
売買益	6,245,889	110,980,696	613,792	486,330,449	126,765,747	6,079,582
売買損	△ 410,299	△ 6,109,513	△ 57,590,827	△ 59,620,758	△ 10,155,118	△ 5,137,530
(C)信託報酬等	△ 4,091,577	△ 4,814,947	△ 4,750,639	△ 5,719,704	△ 5,572,461	△ 6,870,659
(D)当期損益金(A+B+C)	1,743,993	100,056,212	△ 61,727,751	420,989,897	111,038,102	△ 5,928,754
(E)前期繰越損益金	△ 13,394,797	△ 10,950,631	87,725,384	22,037,869	409,510,345	486,671,255
(分配準備積立金)	( 5,028,090)	( 5,267,428)	( 87,725,384)	( 74,363,720)	( 409,510,345)	( 486,671,255)
(繰越欠損金)	(△ 18,422,887)	(△ 16,218,059)	( -)	(△ 52,325,851)	( -)	( -)
(F)追加信託差損益金*	△ 493,455,919	△ 490,342,923	△ 513,326,638	△ 446,158,534	△ 384,518,668	△ 335,153,699
(配当等相当額)	( 4,512,941)	( 4,877,380)	( 11,508,022)	( 21,804,089)	( 113,479,233)	( 178,751,648)
(売買損益相当額)	(△ 497,968,860)	(△ 495,220,303)	(△ 524,834,660)	(△ 467,962,623)	(△ 497,997,901)	(△ 513,905,347)
(G)合計(D+E+F)	△ 505,106,723	△ 401,237,342	△ 487,329,005	△ 3,130,768	136,029,779	145,588,802
次期繰越損益金(G)	△ 505,106,723	△ 401,237,342	△ 487,329,005	△ 3,130,768	136,029,779	145,588,802
追加信託差損益金	△ 493,455,919	△ 490,342,923	△ 513,326,638	△ 446,158,534	△ 384,518,668	△ 335,153,699
(配当等相当額)	( 4,575,205)	( 4,941,444)	( 11,559,058)	( 21,986,388)	( 113,641,802)	( 178,870,017)
(売買損益相当額)	(△ 498,031,124)	(△ 495,284,367)	(△ 524,885,696)	(△ 468,144,922)	(△ 498,160,470)	(△ 514,023,716)
分配準備積立金	5,604,223	89,105,581	87,725,384	443,027,766	520,548,447	486,671,255
繰越欠損金	△ 17,255,027	-	△ 61,727,751	-	-	△ 5,928,754

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (C)信託報酬等は、信託報酬に対する消費税等相当額を含みます。

(注3) (E)前期繰越損益金とは、分配準備積立金と繰越欠損金の合計で、前期末の金額に、期中一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

(注4) (F)追加信託差損益金\*とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、配当等相当額と売買損益相当額に区分します。前期末の金額に、期中追加設定および一部解約により変動した金額を調整して算出しています。

## 分配金の計算過程

項目	第11期	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期
(a) 経費控除後の配当等収益	576,133円	1,330,761円	0円	3,075,931円	1,137,973円	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0円	82,507,392円	0円	365,588,115円	109,900,129円	0円
(c) 信託約款に定める収益調整金	4,575,205円	4,941,444円	11,559,058円	21,986,388円	113,641,802円	178,870,017円
(d) 信託約款に定める分配準備積立金	5,028,090円	5,267,428円	87,725,384円	74,363,720円	409,510,345円	486,671,255円
(e) 分配対象額 (a + b + c + d)	10,179,428円	94,047,025円	99,284,442円	465,014,154円	634,190,249円	665,541,272円
(f) 分配対象額 (1万口当たり)	30.00円	278.13円	278.27円	1,345.57円	1,631.68円	1,631.97円
(g) 分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(h) 分配金 (1万口当たり)	0円	0円	0円	0円	0円	0円



# 当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2022年3月31日～2032年8月10日	
運 用 方 針	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド受益証券への投資を通じて、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。	
主要運用対象	ニッセイ・メタバースワールド（予想分配金提示型）	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド受益証券
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	日本を含む各国の株式
運用方法	ニッセイ・メタバースワールド（予想分配金提示型）	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への実質投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

分 配 方 針	<p>毎月10日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、決算日の前営業日の基準価額に応じた分配をめざします。</p> <p>分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益等の全額とします。</p> <p>収益分配方針に基づき、原則として決算日の前営業日の基準価額（1万口当たり。支払い済みの分配金累計額は加算しません。）に応じて、以下の金額の分配をめざします。</p>												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>決算日の前営業日の基準価額</th> <th>分配金額（1万口当たり、税引前）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>11,000円未満</td> <td>基準価額の水準等を勘案して決定</td> </tr> <tr> <td>11,000円以上12,000円未満</td> <td>200円</td> </tr> <tr> <td>12,000円以上13,000円未満</td> <td>300円</td> </tr> <tr> <td>13,000円以上14,000円未満</td> <td>400円</td> </tr> <tr> <td>14,000円以上</td> <td>500円</td> </tr> </tbody> </table>	決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）	11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定	11,000円以上12,000円未満	200円	12,000円以上13,000円未満	300円	13,000円以上14,000円未満	400円	14,000円以上	500円
	決算日の前営業日の基準価額	分配金額（1万口当たり、税引前）											
	11,000円未満	基準価額の水準等を勘案して決定											
	11,000円以上12,000円未満	200円											
	12,000円以上13,000円未満	300円											
	13,000円以上14,000円未満	400円											
14,000円以上	500円												
<ul style="list-style-type: none"> <li>分配対象額が少額の場合、あるいは決算日の前営業日から決算日までに基準価額が急激に変動した場合等には、上記とは異なる分配金額となる場合や分配金が支払われない場合があります。また、委託会社の判断により、分配を行わないことがあります。</li> <li>基準価額の値上がりにより、該当する分配金テーブルが分配金の支払い準備のために用意していた資金を超える場合等には、テーブル通りの分配ができないことがあります。</li> <li>基準価額に応じて、毎月の分配金額は変動します。基準価額があらかじめ決められた水準に一度でも到達すれば、その水準に応じた分配を継続するというものではありません。</li> <li>分配を行うことにより基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期決算以降の分配金額は変動する場合があります。また、あらかじめ一定の分配金額を保証するものではありません。</li> </ul>													
<p>※分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して決定します。</p>													
<p>※将来の分配金の支払いおよびその金額について、保証するものではありません。</p>													

# ニッセイ・メタバースワールド マザーファンド

## 運用報告書

### 第 3 期

(計算期間：2023年2月11日～2023年8月10日)

運用方針	①主に日本を含む各国の株式等を主要投資対象とし、仮想現実関連技術を含むメタバース関連ビジネスを行う企業の株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を図ることを目標に運用を行います。	主要運用対象	日本を含む各国の株式
	②仮想現実関連技術を含むメタバース関連ビジネスを行う企業のなかから、メタバース関連ビジネス拡大の恩恵を受け、今後、利益成長が期待できる銘柄に投資を行います。	運用方法	以下の様な投資制限のもと運用を行います。 ・株式への投資割合には、制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。



ニッセイアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-6

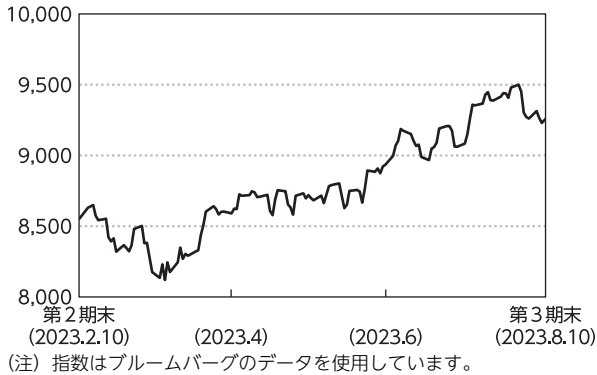
# 運用経過

2023年2月11日～2023年8月10日

## 投資環境

### 株式市況

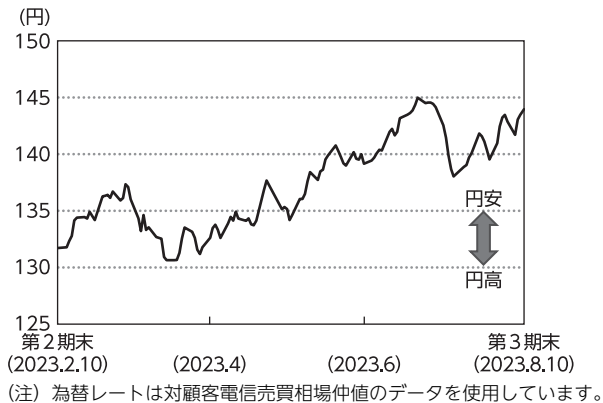
【MSCI ワールド・インデックス  
(配当込み、米ドルベース)の推移】



株式市場は期を通じて見ると上昇しました。期初以降、米地銀の経営破綻に端を発した欧米における金融不安発生で、クレディ・スイス・グループがUBSに救済合併されるなど金融危機の様相を呈する展開となったことから投資家のリスク回避姿勢が強まり株価は下落する場面がありましたが、欧米金融当局による対応が早かったことに加え、今後の金融引き締めをけん引役として上昇に転じる展開となりました。4月中旬以降は主要グローバル企業の良い業績動向に加え、生成AIの爆発的な成長による恩恵を見込む米半導体企業の業績見通しを手掛かりとしたAI関連銘柄への物色が進み、特に米国の金融引き締め減速により、金融引き締め環境下で大きく下落していた高成長・テクノロジー株の買い戻しとみられる動きが強まりました。一方で世界的な金融引き締めの継続や中国の景気回復の鈍さなどが嫌気される場面もありましたが、良好な企業業績が下支えとなりました。当期末にかけては大手格付け会社による米国債の格下げに端を発した米長期金利の上昇や中国経済への懸念が嫌気され、株価は上昇幅を縮めるかたちで当期末を迎えました。

### 為替市況

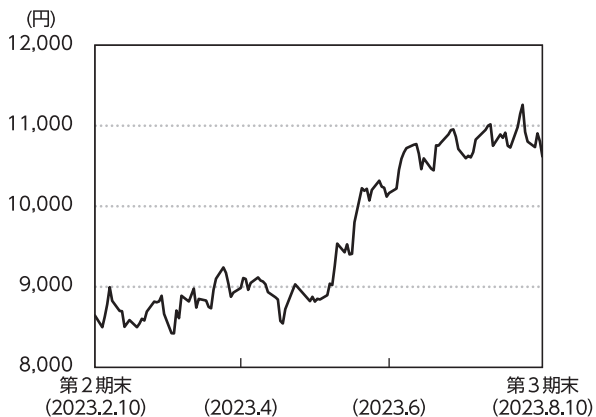
【米ドル／円レートの推移】



米ドル／円相場は期を通じて見ると米ドル高円安となりました。

3月中旬に欧米における金融不安発生で投資家のリスク回避姿勢がやや強まった場面があったものの、その後は欧米での金融機関に対する信用不安が和らいだことや日銀の金融緩和策が植田新総裁のもとで当面維持されるとの見通しなどを背景に米ドル高円安に転じました。7月には日銀がイールドカーブ・コントロール（長短金利操作、YCC）の運用柔軟化を決定したことなどを受けて米ドル安円高となった場面もありましたが、当期末にかけては日銀の金融緩和継続姿勢や世界の主要中央銀行における利上げの継続など、世界的な金融引き締めの継続を受けて再び米ドル高円安が進行しました。

## 基準価額等の推移



(注) 当マザーファンドはベンチマークを設けていません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

#### <上昇要因>

- ・ 3月中旬から4月上旬にかけて、金融危機に伴う金融引き締め緩和への期待感や金融危機への欧米金融当局による対応が迅速に行われたことで株価が上昇したこと
- ・ 5月中旬から7月中旬にかけて、米債務上限問題の解決や堅調な景気動向に加え、生成人工知能(AI)の開発等で必要とされる高性能画像処理半導体(GPU)需要の高まりを受けて米半導体企業が市場予想を大きく上回る業績見通しを発表したことでAI関連銘柄が物色されたこと
- ・ 期を通じて日銀の金融緩和継続姿勢や世界的な金融引き締めの継続を受けておおむね米ドル高円安が進行したこと

#### <下落要因>

- ・ 期初から3月上旬にかけて、今年中の利下げまで見込む金融政策に対する楽観的な見方が後退したことや、米地銀の経営破綻など欧米において金融不安が発生し株価が下落したこと
- ・ 7月下旬以降、米国債の格下げに端を発した米長期金利の上昇や中国経済への懸念から株価が下落したこと

## ポートフォリオ

日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行いました。

当期末における業種配分は、組入比率の高い順に情報技術(73.0%)、コミュニケーション・サービス(21.1%)、一般消費財・サービス(2.8%)としています。

当期末における国・地域別配分は、組入比率の高い順にアメリカ(84.8%)、中国(4.0%)、オランダ(2.2%)としています。

(注1) メタバースとはメタ(meta:超越)とユニバース(universe:世界)を組み合わせた造語で、通信ネットワーク上に構築された仮想空間やそのサービスのことをさします。参加者はアバターと呼ばれる自分の分身を操作して、仮想空間内でさまざまな活動を行うことができます。

(注2) 業種はGICS分類(セクター)によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS&PおよびMSCI Inc.に帰属します。

(注3) 比率は対純資産総額比です。

(注4) 国・地域はニッセイアセットマネジメントの分類によるものです。

## ベンチマークとの差異

当マザーファンドは、日本を含む各国の株式のなかから、「メタバース」に関連する事業を展開する企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標に運用を行います。このため、コンセプトに適った指数が存在しないことから、ベンチマークなどを設けていません。

## 今後の運用方針

当マザーファンドは長期的な視点で、今後、大きな成長が期待される「メタバース」に関連する技術、コンテンツ展開力、市場アクセス等に強みを持つ企業へ投資を行っています。投資にあたっては「メタバース」関連の技術やコンテンツ等において企業として競争優位性を持っているかを分析したうえで、今後、中長期的な業績成長シナリオを達成できると見込まれる企業への投資を行っています。

「メタバース」はこれから成長する技術でもあり、多くの技術やコンテンツ等は比較的新しい中小の企業が持っていることも事実です。このため、当マザーファンドでは時価総額などで規模の小さい企業群への投資がやや多くなる傾向にあります。「今後、これらの中小規模の企業が大きく業績成長することを期待して投資を行っている」とご理解いただけますと幸いです。銘柄選別にあたっては「メタバース」をキーワードとした業績成長シナリオを想定しており、経営陣が確かな執行能力を持つと思われる企業の中から、長期的な成長力を重視して選択しています。同時に株価バリュエーション（企業の利益・資産など、本来の企業価値と比較して、相対的な株価の割高・割安を判断する指標）を考慮し、相対的にバリュエーションが高すぎる銘柄を排除するなど、慎重な銘柄選択を実施しています。今後も、「メタバース」をキーワードに長期的な成長を達成し、同時に企業価値を向上することができる銘柄への投資を進めていきたいと考えています。

## 設定以来の運用実績

決算期	基準価額	期中騰落率		株式組入比率	純資産総額
(設定日)	円		%	%	百万円
2022年3月31日	10,000		—	—	1,115
1期(2022年8月10日)	9,050	△	9.5	96.6	4,925
2期(2023年2月10日)	8,645	△	4.5	93.5	8,259
3期(2023年8月10日)	10,618		22.8	98.6	8,897

(注1) 設定日の基準価額は当初設定価額を記載しています。

(注2) 株式組入比率には新株予約権証券を含みます。以下同じです。

(注3) 設定日の純資産総額は当初設定元本を記載しています。

## 当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		株式組入比率
	円		%	%
(期首)2023年2月10日	8,645		—	93.5
2月末	8,543	△	1.2	92.8
3月末	9,101		5.3	95.4
4月末	8,723		0.9	96.9
5月末	10,217		18.2	94.7
6月末	10,791		24.8	96.4
7月末	10,985		27.1	97.3
(期末)2023年8月10日	10,618		22.8	98.6

(注) 騰落率は期首比です。

## 1万口当たりの費用明細

2023年2月11日～2023年8月10日

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	1円 (1)	0.010% (0.010)	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数 売買委託手数料：有価証券等の売買・取引の際に仲介人に支払う手数料
有価証券取引税 (株式)	0 (0)	0.001 (0.001)	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税：有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
その他費用 (保管費用)	1 (1)	0.007 (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(その他)	(0)	(0.000)	・信託事務の諸費用：信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用 ・借入金の利息：受託会社等から一時的に資金を借り入れた場合（立替金も含む）に発生する利息
合計	2	0.017	

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（9,655円）で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しています。



## 売買および取引の状況

2023年2月11日～2023年8月10日

## 株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
国内	上場	千株	千円	千株	千円
		—	—	1	8,094
外国	アメリカ	百株	千米ドル	百株	千米ドル
		579	2,666	1,126	7,505
	香港	—	千香港ドル	—	千香港ドル
		—	—	445	1,945
	ユーロ	—	千ユーロ	—	千ユーロ
オランダ	—	—	2	152	
フランス	—	—	34	138	

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 地域は発行通貨によって区分しています。以下同じです。

(注3) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 主要な売買銘柄

2023年2月11日～2023年8月10日

## 株式

銘柄	買付			売付			
	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
IMMERSSION CORPORATION	46	51,470	1,114	COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	23	185,321	7,772
APPLIED MATERIALS INC	3	51,259	16,324	NVIDIA CORP	1	61,096	57,638
NVIDIA CORP	1	50,862	36,460	META PLATFORMS INC-A	1	57,500	38,720
BROADCOM INC	0.602	50,842	84,455	BROADCOM INC	0.385	45,519	118,231
MICROSOFT CORP	1	50,701	37,780	MICROSOFT CORP	0.801	38,035	47,484
META PLATFORMS INC-A	1	50,507	27,554	IMMERSSION CORPORATION	36	37,263	1,007
TERADYNE INC	3	50,437	14,394	APPLIED MATERIALS INC	1	35,345	19,560
—	—	—	—	CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	0.999	32,989	33,022
				QUALCOMM INC	1	32,123	16,507
				SKYWORKS SOLUTIONS INC	2	31,568	15,011

(注1) 金額は受渡代金で、外国株式は各月末（決算日の属する月については決算日）における国内の対顧客電信売買相場の仲値で換算した邦貨金額の合計です。

(注2) 株数および金額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および金額が単位未満の場合は、小数で記載しています。

## 組入有価証券明細表

2023年8月10日現在

(1) 国内株式  
上場株式

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
<b>電気機器(43.6%)</b>			
ソニーグループ	5	5	66,594
<b>その他製品(56.4%)</b>			
任天堂	14	13	86,263
合計	株数・金額	20	19
	銘柄数<比率>	2	2
			<1.7%>

(注1) 銘柄欄の( )内は、当期末における国内株式の評価総額に対する各業種の比率です。

(注2) 合計欄の< >内は、当期末の純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 株数および評価額の単位未満は切り捨てています。ただし、株数および評価額が単位未満の場合は、小数で記載していません。以下同じです。

## (2) 外国株式

銘柄	期首(前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
<b>(アメリカ)</b>	百株	百株	千米ドル	千円	
ADOBE INC	37	34	1,751	252,216	ソフトウェア・サービス
ADVANCED MICRO DEVICES INC	169	152	1,685	242,636	半導体・半導体製造装置
AKAMAI TECHNOLOGIES INC	126	113	1,173	169,006	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL A	137	123	1,600	230,467	メディア・娯楽
AMAZON.COM INC	104	93	1,295	186,462	一般消費財・サービス流通・小売り
APPLE INC	108	97	1,741	250,724	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
APPLIED MATERIALS INC	145	158	2,304	331,806	半導体・半導体製造装置
ARISTA NETWORKS INC	111	99	1,774	255,420	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
AUTODESK INC	92	82	1,695	244,054	ソフトウェア・サービス
BENTLEY SYSTEMS INC-CLASS B	351	315	1,510	217,435	ソフトウェア・サービス
BROADCOM INC	31	33	2,883	415,176	半導体・半導体製造装置
CADENCE DESIGN SYSTEMS INC	97	87	1,976	284,480	ソフトウェア・サービス
CIENA CORP	249	223	920	132,489	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COINBASE GLOBAL INC -CLASS A	238	—	—	—	金融サービス
ELECTRONIC ARTS INC	122	109	1,339	192,804	メディア・娯楽
IMMERSSION CORPORATION	3,159	3,250	2,213	318,713	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
MARVELL TECHNOLOGY INC	214	192	1,153	165,995	半導体・半導体製造装置
META PLATFORMS INC-A	126	130	3,981	573,215	メディア・娯楽
MICROSOFT CORP	64	70	2,268	326,526	ソフトウェア・サービス
NVIDIA CORP	89	93	3,960	570,092	半導体・半導体製造装置

## ニッセイ・メタバースワールドマザーファンド

銘柄	期首(前期末)	当期末				業種等
		株数	株数	評価額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
<b>(アメリカ)</b>		百株	百株	千米ドル	千円	
QUALCOMM INC		190	171	1,993	286,979	半導体・半導体製造装置
ROBLOX CORP -CLASS A		534	480	1,414	203,630	メディア・娯楽
SAMSUNG ELECTRONICS-GDR 144A		7	7	922	132,736	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
SEA LTD-ADR		117	105	593	85,465	メディア・娯楽
SKYWORX SOLUTIONS INC		205	184	1,980	285,107	半導体・半導体製造装置
SNAP INC - A		452	406	424	61,048	メディア・娯楽
SYNOPTIS INC		47	43	1,844	265,538	ソフトウェア・サービス
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR		116	105	986	142,085	半導体・半導体製造装置
TAKE-TWO INTERACTIVE SOFTWARE		100	90	1,259	181,354	メディア・娯楽
TERADYNE INC		168	183	1,950	280,748	半導体・半導体製造装置
TEXAS INSTRUMENTS INC		107	96	1,617	232,879	半導体・半導体製造装置
UNITY SOFTWARE INC		247	222	835	120,254	ソフトウェア・サービス
WALT DISNEY CO		111	100	878	126,504	メディア・娯楽
ZOOM VIDEO COMMUNICATIONS-A		162	145	969	139,502	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	8,353 34	7,806 33	54,901 -	7,903,558 <88.8%>	
<b>(香港)</b>				千香港ドル		
ALIBABA GROUP HOLDING LTD		405	362	3,406	62,712	一般消費財・サービス流通・小売り
BAIDU INC-CLASS A		289	258	3,644	67,101	メディア・娯楽
MEITUAN-B		11	10	145	2,671	消費者サービス
NETEASE INC		341	306	5,162	95,036	メディア・娯楽
TENCENT HOLDINGS LTD		113	101	3,405	62,699	メディア・娯楽
XIAOMI CORP-CLASS B		3,106	2,782	3,377	62,176	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	4,265 6	3,819 6	19,141 -	352,398 <4.0%>	
<b>(ユーロ/オランダ)</b>				千ユーロ		
ASML HOLDING NV		22	19	1,218	192,563	半導体・半導体製造装置
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	22 1	19 1	1,218 -	192,563 <2.2%>	
<b>(ユーロ/フランス)</b>						
DASSAULT SYSTEMES SA		330	296	1,110	175,405	ソフトウェア・サービス
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	330 1	296 1	1,110 -	175,405 <2.0%>	
ユーロ計	株数・金額 銘柄数<比率>	352 2	315 2	2,329 -	367,968 <4.1%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	12,971 42	11,942 41	- -	8,623,926 <96.9%>	

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価を国内の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額の< >内は、当期末の純資産総額に対する株式評価額の比率です。

(注3) 業種はGICS分類（産業グループ）によるものです。なお、GICSに関する知的財産所有権はS & PおよびMSCI Inc.に帰属します。

## 投資信託財産の構成

2023年8月10日現在

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
株式	8,776,784	96.6
コール・ローン等、その他	307,972	3.4
投資信託財産総額	9,084,756	100.0

(注1) 外貨建資産は、当期末の時価を国内の対顧客電信売相場の中値により邦貨換算したものです。なお8月10日における邦貨換算レートは、1米ドル143.96円、1香港ドル18.41円、1ユーロ157.97円です。

(注2) 外貨建純資産 (8,681,135千円) の投資信託財産総額 (9,084,756千円) に対する比率は95.6%です。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨てています。

## 資産、負債、元本および基準価額の状況

(2023年8月10日現在)

項目	当期末
(A)資産	9,084,756,768円
コール・ローン等	306,032,121
株式(評価額)	8,776,784,436
未収配当金	1,940,211
(B)負債	187,297,862
未払解約金	187,296,610
その他未払費用	1,252
(C)純資産総額(A-B)	8,897,458,906
元本	8,379,399,180
次期繰越損益金	518,059,726
(D)受益権総口数	8,379,399,180口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,618円

(注1) 期首元本額 9,553,853,681円  
 期中追加設定元本額 3,191,169,092円  
 期中一部解約元本額 4,365,623,593円

(注2) 当マザーファンドの当期末元本額におけるベビーファンド別内訳は、次の通りです。

ニッセイ・メタバースワールド (資産成長型) 4,478,212,192円  
 ニッセイ・メタバースワールド (予想分配金提示型) 3,901,186,988円

## 損益の状況

当期 (2023年2月11日~2023年8月10日)

項目	当期
(A)配当等収益	29,404,013円
受取配当金	29,206,651
受取利息	299,221
支払利息	△ 101,859
(B)有価証券売買損益	1,842,750,424
売買益	2,220,920,625
売買損	△ 378,170,201
(C)信託報酬等	△ 616,556
(D)当期損益金(A+B+C)	1,871,537,881
(E)前期繰越損益金	△ 1,294,602,436
(F)追加信託差損益金	△ 26,082,578
(G)解約差損益金	△ 32,793,141
(H)合計(D+E+F+G)	518,059,726
次期繰越損益金(H)	518,059,726

(注1) (B)有価証券売買損益は、期末の評価換えによる損益を含みます。

(注2) (F)追加信託差損益金とは、追加設定をした価額と元本との差額をいい、元本を上回る場合は利益として、下回る場合は損失として処理されます。

(注3) (G)解約差損益金とは、一部解約をした価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。